

# 最先端の NVIDIA vGPU-VDI で 高度な CG 教育を実践

日本電子専門学校 様

## 最大で 8 枚の GPU をサポートする高性能サーバーを導入

日本電子専門学校では、「職業教育」と「キャリア教育」を教育方針の 2 本柱として、世界で活躍できるスペシャリストを育成している。同校の「CG・映像分野」学科の卒業生は、映画やゲーム、アニメーションなどの有名作品に CG クリエイターとして数多く参加している。その「CG・映像分野」学科で学ぶ学生の CG 環境をアスクが構築した。

日本電子専門学校の CG・映像分野学科における R&D を担当する浦正樹氏は、CG 教育の現場に NVIDIA の仮想 GPU ソリューション(NVIDIA vGPU)を導入した経緯について、次のように振り返る。

「きっかけは、vGPU-VDI で Autodesk の Maya が通常通りに動く、というオートデスク社の仕様書を目にしたことでした。その後、2018 年に私の上長が海外研修でカナダのバンクーバーに行き、イメージワークス社の CG 制作現場で VDI が使われているのを見て、それが決定打となり当校でも採用しようと検討を開始しました」

そして、浦氏を中心とした vGPU-VDI の導入プロジェクトが 2018 年の後半にスタートしたが計画は伸びてしまう。その理由について浦氏は「最初のパートナー選定に問題がありました。vGPU-VDI を構築した経験のないシステムインテグレータに相談したのですが、レスポンスが遅く機器構成なども具体的な提案が得られませんでした。そこで、展示会で知り合ったアスクに相談したところ、ASUS のサーバーで vGPU-VDI を構築した実績があることから、導入パートナーとして協力してもらうことにしました」と説明する。

構築された vGPU-VDI 環境は、3 台の ASUS 製 ESC4000 G4 サーバーに 8 枚の T4 GPU を搭載し、最大で 40 名の生徒と数名の教員が Maya による CG 制作の授業を実施できるパフォーマンスを実現した。

構築したシステムについて浦氏は「T4 GPU による vGPU-VDI は、ハードウェア的には満足しています。将来的に Unreal Engine や Houdini への展開や、希望があれば AI 分野をはじめとした IT 関連学科への導入についても推薦したいと考えています」と話す。



学校法人電子学園 日本電子専門学校  
コンピュータグラフィックス  
R&D Center  
CG 映像制作科  
浦正樹氏

## 導入したシステム概要

ソフトウェア仮想

デスクトップ環境 : VMware Horizon  
NVIDIA Quadro 仮想データセンター  
ワークステーション (Quadro vDWS)

キーアプリケーション : Autodesk Maya  
Adobe Photoshop  
Foundry Nuke

ハードウェア : サーバー : ASUS ESC4000 G4  
GPU : NVIDIA T4  
シンククライアント : Atrust t225L-W5



法人名 : 学校法人電子学園  
学校名 : 日本電子専門学校  
業界 : 教育産業  
地域 : 日本 (卒業生は海外でも活躍)  
所在地 : 東京都新宿区百人町 1-25-4  
設立 : 1951 年  
校長 : 船山 世界  
教育分野 : CG・映像、ゲーム、アニメ、デザイン、AI、情報処理、  
Web・モバイル、ビジネス、ネットワーク・セキュリティ、  
電気・電子の 10 分野に、昼夜間部 25 学科を設置



問い合わせ先

**ASK**  
Corporation

株式会社アスク インダストリー営業部

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-21 山脇ビル 11 階  
TEL : 03-5215-5653 FAX : 03-5215-5651  
MAIL : ind@ask-corp.co.jp

